

USD - Underground Scriptwriter DAO -

第一期 ドラマ・シリーズ企画

紅と雪 -女侠の街-



Main Writer

和泉 (@izumiscript)

荻安理紗 (@ogiarisa)

やなぎ (@ieitsu)

第一話「紅く染まる雪」 パイロット版脚本



1 EXT. 新宿歌舞伎町、ト一横広場 - NIGHT 西暦2051年

テロップ 西暦2051年 東京/新宿歌舞伎町

映し出される歌舞伎町の様子。現在より進化したサイネージ看板やホログラム広告、人々の服装などで近未来であることが分かる。

その街のど真ん中の広場で、黒いパンツスーツを着た日本女性の集団が日本刀を振り回し、鉄パイプやマチェーテで武装した屈強な男性の海外マフィアと乱闘を繰り広げている。

その乱闘の中でも、際立って目立っている、超高速の剣舞のような動きの女性=雪乃・ハミルトン (26) にカメラが寄っていく。

日本刀を振り回し、次々に襲いかかってくる敵を斬り倒していく雪乃。

雪乃(v.o.)
こいつら、一体どこから湧いてきやがる...次
から次へと...

あちこちで飛び交う怒号と肉片、血飛沫と断末魔の声。
ビルの影から、オタオタとそれを見守っている日本の警官たち。

雪乃と10メートルくらい離れたところで、短銃を撃ち、敵をなぎ倒している着物姿の大原 紅緒 (33)。
撃ち尽くした弾倉をリリースし、リロードしようとしたところ、手元が狂い弾倉を落としそうになる。

そこに白人系のマフィアが鉄パイプで襲いかかる。

別の敵と戦いながらそれを見ていた桐野"お春"美春 (31) が叫ぶ。

お春
姉御！！

その声を聞き、近くにあったドラム缶を踏み台に、紅緒の方に飛ぶ雪乃。

雪乃(v.o.)
思い起こせば、何の因果だったのか...

落下しそうになった弾倉をキャッチしながら、リロードが間に合わないことを悟り、短銃を横に構えて白人マフィアの打撃を受けようと構える紅緒。

アスリートのように空中を高く跳躍している雪乃。

雪乃(v.o.) (CONT'D)
この一年で、私の運命はすっかり変わってしまった...

鉄パイプを大きく振りかぶって襲ってきた白人系マフィアの目の前に着地し、日本刀を横ざまに一閃、顔面に一筋の返り血を浴びる雪乃。

雪乃(V.O.) (CONT'D)
この女(ひと)を守るために、そして、私に流れる"義侠"の血のために

鉄パイプの敵を倒した後、お互いの顔も見ずに、それぞれが背中を預けるように立って再び敵と向き合う雪乃と紅緒。

紅緒が弾倉をリロードする音が静かに大きく響く。

暗転。

作品タイトル表示 「紅と雪 - 女侠の街」

テロップ — 一年前 —

2 EXT. 新宿歌舞伎町、メイン通り - DAY

ドローンカメラが歌舞伎町の様子を上空から映していく。

一見、街並みは現代とあまり変わっていないように見えるが、風俗の看板には半裸の男性のキャストの写真がディスプレイされていたり、公園近くでは男娼らしき立ちんぼが立っていたり、また、街を歩く日本人の男性もどことなく弱々しい印象で、"現在と地続きの近未来"ではない、妙な違和感を醸し出している。

興味深そうに風俗の広告や看板を眺めて歩く雪乃・ハミルトン(25)と、白人女性のシャーリーズ(26)。

※以下、英語で

シャーリーズ
(半裸男性のホログラムが卑猥な動きをしている広告を指差し)
あれ見て!

雪乃
ほんとだ! すごい

歌舞伎町観光を楽しんでいる二人に、ナヨっとした若い男の客引き(20)が声をかける。

男の客引き
マッサージどうですか? 全身マッサージ、スペシャルコースもありますよ

シャーリーズ
雪乃、彼はなんて言ってるの？

雪乃
全身マッサージ、スペシャルコースもあるって

シャーリーズ
スペシャルコースって何？雪乃、聞いてみてよ

客引きとヒソヒソ声で話す雪乃。その内容をシャーリーズに耳打ちする

シャーリーズ (CONT'D)
(興奮して)
え！？ほんと?! ちょっと行ってみたい!

雪乃
(苦笑して)
あんた彼氏いるじゃん! あとやだよ、男を買うとか

シャーリーズ
(舌打ちして)
チッ!...じゃあ今度メアリーと来るわ

雪乃
(客引きに日本語で)
今日は帰るって。ごめんねー

「あーそうっすかー」と残念そうに二人を見送る客引きの若い男

女性の声 (V.O.)
西暦204X年、スーパーフレアの発生から東アジアに降り注いだ重粒子線 ω (オメガ)。それは男たちの持つ“闘争本能”に著しい影響を与えた。

BEGIN IMAGE

当時のニュース映像や、識者の説明VTR、重粒子線の説明CGなど

女性の声 (V.O.) (CONT'D)
通称「戦士の遺伝子」と呼ばれるMAOA遺伝子。そこに急激な変化が生じた結果... 東アジアの男たちは、暴力性と、牙を失った

遺伝子変異を説明したCG、日本人の男の変化を示す科学的データの表、男性の面相の変化などを示すCGや写真が映し出される

END IMAGE

シャーリーズ
(スマホの時計を見て)
あ、やば。そろそろ行かないと。じゃあまた学生寮でね!

雪乃
Okey! See ya!

去っていくシャーリーズに手を振り、一人で歌舞伎町観光を続ける雪乃。

3 EXT. 新宿歌舞伎町、ラーメン屋 - DAY

店内からと思われる怒声が通りに聞こえてきて、正面入口から慌ただしく、数人の客がいそいそと店外に出てくる。

女性の声(v.o.)
結果、日本の繁華街は諸外国のマフィアにとっての、絶好の狩場となり、警察を含め、抑止力を失った歌舞伎町は無法地帯と化した...

ラーメン屋の前を警官の二人組が通りかかり、店内の怒声に注意を向けている

警官A
(眉間にシワを寄せて)
...うわー、なんか揉めてるよ

警官B
また人外ですかね？

警官A
...そうだな、早く行こう

警官B
はい！

ラーメン屋に向かうと思われた警官たちだが、二人は踵を返してラーメン屋から早足で立ち去っていく。

4 INT. 同、新宿歌舞伎町、ラーメン屋 - CONTINUOUS

カメラが店内に入っていく、カウンターでラーメンをすするグリゴローヴィチ(43)の後ろ姿にカメラが寄っていく。

ラーメンを茹でながら、恐怖と緊張の面持ちで目の前の大男の動作に神経を注いでいる店主。

店の隅では、若い日本の男性客が床に転がされ、複数のロシアン・マフィアから袋叩きにされている。

配下A
(ロシア語で)
タマなしのくせに、イキんなよ、日本人が

笑いながら暴行を続けるロシアン・マフィアたち。

丼に残っているラーメンを急いでかき込んでいた客が「もう無理」と言わんばかりに立ち上がって店外に出ていく。

麺が茹で上がり、店主がカウンターに置いた丼を受け取る子分。暴行されてぐったり横たわっている日本の男性客の前に、麺をすすりながら立ち、質問を投げかける。

配下A (CONT'D)
(日本語で)
麺とスープ、どっちがいい？

これから行われることを察知したのか、首をプルプル横に振る日本人の男性客。

日本人の男性客
(半泣きで)
...勘弁してください...

配下A
(無慈悲な表情で)
選べって

日本人の男性客
(諦めたように)
...麺...の方で...

配下A
(ニヤッと笑って)
そうか、じゃあ"全部入り"だ

湯気の出ている丼をひっくり返し、横たわっている日本人男性客の顔にぶっかける配下A。
店内に響わたる悲鳴。もう耐えきれないという表情で強く目を瞑る店主。

スープを啜りながらその店主の表情を見て、テーブルの上に丼を置くグリゴローヴィチ。

グリゴローヴィチ
(日本語で)
まずい

重そうな巨体のグリゴローヴィチが大儀そうに立ち上がり、それに追従して店を出て行く配下たち。
安堵したような表情を浮かべるラーメン屋の店主。

5 EXT. 新宿歌舞伎町、裏通り - MOMENTS LATER

10人ほどの配下たちと街を徘徊するグリゴローヴィチ。ロシアン・マフィアたちの姿を見て、通りにいた女たちはささっと身を隠し、男たちは目を伏せる。

グリゴローヴィチは、飲食店の前でボードを持って雑談をしている少女のグループに目を付ける。

※以下、ロシア語で

グリゴローヴィチ
 (配下たちに)
 なあ、おやつの時間じゃないか？

その言葉の意を察したように、ニヤニヤしながら頷く配下たち

グリゴローヴィチ (CONT'D)
 今日は青い果物がいい

少女のグループに近づく配下たち。何人かは気付いて逃げ出すが、スマホを見ていて気づくのが遅れた少女の背後にはもう配下Dが立っている。

少女が振り返った瞬間、配下Dの大きな掌が少女の顔を掴む。暗転。

6 EXT. 新宿歌舞伎町、裏通り - CONTINUOUS

先ほどの少女が配下Dの肩に担がれて、ロシアン・マフィアの集団に拉致されようとしている。少女は何かを叫んでいるが、口が塞がれているのか、たまに悲鳴が漏れる程度で、周囲にはあまり響かない。

近くの通りを歩いていた雪乃が、その悲鳴に気付き、駆け寄ってくる。

助けを乞おうと雪乃が周囲を見回すと、道端でそれを見ていたホスト風の男たちは、あえて背を向けて見ないフリをしたり、用事を思い出したように店内に戻ったりしている。

近くを歩いていた警官二人組のところに駆け寄り、肩を叩く雪乃。

雪乃
 お巡りさん！ちょっとあれ！女の子が連れて行かれそうですよ？！

警官たち、曖昧な笑みを浮かべながら誤魔化そうとする。

警官A
 いや、我々は民事不介入が原則でして...確認にも時間が...

雪乃、もう一人の警官を見るが、こちらもわざとらしく目を逸らしている

雪乃
 どこが民事だって?!...ったくもう!

警官たちに頼ることを諦め、ロシアン・マフィアの集団の後を追いかけて声をかける雪乃。

雪乃 (CONT'D)
 ねえ！ちょっと！Hey guys！その子の同意は取ったの？嫌がってるじゃない！

集団の中心を歩いていたグリゴローヴィチ、振り返り、変わった動物を見るような目で雪乃を見る。

グリゴローヴィチ
こっちはそれほど青くないな...肉付きはどう
だ？

ロシアン・マフィアの配下Bが雪乃に手を伸ばそうとするが、雪乃はバックステップでそれを躲す。少し感心した顔で体勢を整え、雪乃に再びつかみかかろうとする配下。

相手が戦闘体勢に入ったことで覚悟を決めたのか、雪乃も応戦する。配下の手を振り払い、足をかけて転ばせる。他の配下に嘲笑される配下B。

作り笑いを浮かべて立ち上がり、あからさまな殺気を剥き出しにして雪乃に攻撃をしかけてくる配下B。だが、雪乃はその攻撃を受け流したりして応戦している。

その武技に感嘆の声を上げる他の配下たち。

グリゴローヴィチ (CONT'D)
(別の配下に目配せして)
もういいだろ、そのフルーツも楽しもう

配下c、頷いて他の配下に目配せをすると、雪乃の後ろに回り込む。
"プシュ"という発射音がして、後ろからティーザー銃で撃たれ、失神する雪乃。

7 INT. 新宿歌舞伎町、廃ビル地下の劇場跡 - EVENING

床には汚れたマットレスがいくつか転がっており、慣れた様子で劇場内を歩くロシアン・マフィアの様子から、彼らがよく使っている"餌場"だということが明示される。

子分たちがマットレスを繋げて並べ直し、その上に転がされる少女と雪乃。二人は既に服を脱がされており、下着姿になっている。少女は恐怖のあまり声も出せない。少女の前に座り込み、話しかけるグリゴローヴィチ。

グリゴローヴィチ
(ニヤニヤ笑いながら)
下着の趣味も、悪くないね

恐怖のあまり、口元をカタカタと震わせる少女。マットレスの周りを囲み、下卑た表情で様子を見守る部下たち。

意識が戻った雪乃。起き上がろうとするが結束バンドで後ろ手を縛られていることに気づき、暴れ出す。別の配下Dに頭を蹴られる。それにもめげず、蛇のように身体をくねらせて配下Dの脛に噛みつく雪乃。

配下D
こいつ噛みやがった！

配下D、怒りに任せて雪乃の頭をストンピングで蹴る。鼻が地面に当たったのか、出血する雪乃。

グリゴローヴィチ
 (雪乃を見て)
 そっちの跳ねっ返りも起きたか。そいつは後で
 楽しもう

出血し、配下たちに首を押さえつけられるも、激しい抵抗をやめず、さらに暴れる雪乃。

雪乃
 (うめきながら)
 やめろ、ゲス野郎!...Mother Fucker!!

配下D
 (呆れて)
 元気すぎるだろ、お前

配下D、雪乃の腹をサッカーボールのようにキックする。苦痛に悶える雪乃。

グリゴローヴィチ
 (少女を見てニヤニヤ笑いながら)
 君はどうする?大人しくしててもいいし、抵抗
 してもいい。俺は、どっちでも楽しめるか
 ら...

恐怖と絶望の表情を浮かべる少女。

グリゴローヴィチ (CONT'D)
 どっちがいい?選びな...日本人は苦手みたい
 だけどな、選ぶのが...

ジャケットを脱ぎ、ズボンのベルトを外そうとするグリゴローヴィチ。
 蹴られ続けながらも目を見開き、怒りに満ちた表情で反撃の機会を伺う雪乃。

その時、劇場に声が響く。

紅緒(O.S.)
 そんなに太ってちゃあ、ベルトを外すのも骨だ
 ろう

どこから聞こえてきた声なのか、劇場内を見回すグリゴローヴィチと配下たち。

紅緒(O.S.) (CONT'D)
 好き放題やりやがって。いつから歌舞伎町が口
 シアのシマになった?

コツコツと劇場内に響く足音。そして暗いステージの奥の方から左手に蛇の目傘、着物姿の紅緒が出てくる。

ジャケットの内ポケットに手を入れ、銃を確認する配下たち。

配下B
 (グリゴローヴィチに耳打ちして)
 大原一家の総長です

余裕そうに口元に笑みを浮かべながらベルトを外し、ズボンを完全に下ろすグリゴローヴィチ。

グリゴローヴィチ
 (ふざけて)
 タラ〜♪

旧ソ連の国旗柄のトランクスを露わにしながら、グリゴローヴィチは配下たちに顎で合図を出す。

手応えのある獲物を見つけたとばかりに、紅緒を見てニヤニヤしながら銃を取り出す配下たち。

紅緒
 (余裕の笑みを浮かべて)
 撃ってごらんよ。てめえらの腐れ弾なんざ、当たり前やしねえから

配下の一人が紅緒の足のあたりに狙いをつけて銃を向け、引き金を引くとハンドガンの銃身が裂けるように暴発する。破片で手を負傷したのか、叫び声を上げてうずくまる。手からはポタポタと血が滴っている。

何が起こったのか分からずに銃をチェックする配下たち。その時、一人の配下の銃口に、小豆大の大きさの爆薬を積んだ超小型のドローンが銃口に入り込んでいくのを目撃する配下たち。

配下A
 ...銃口に、何か入った!?

劇場上部の貴賓席に座り、ノートパソコンでドローン进行操作している八板 瑠璃(32)の姿。瑠璃がトラックパッドをトンと指で叩くと、配下たちのハンドガンの銃身に入った超小型ドローンが自爆し、次々と銃身を破裂させていく。

真顔になるグリゴローヴィチ。銃を無効化された配下たちは気を取り直し、懐に呑んでいたスベツナズナイフや、特殊警棒を持ってステージ上の紅緒に向かう。

ステージに駆け上った配下たちが紅緒に襲い掛かろうとした瞬間、紅緒が剣舞のように蛇の目傘を振り、「ドチャ!」という異様に重い打撃音が劇場に響く。腕が折れたり、顔が変形したりして、倒れてうめく配下たち。

蛇の目傘についた血を軽く振り払う紅緒。

紅緒
 ...自分の国で食いつめたハンチクどもが。わざわざ海渡って日本に来んじゃねえよ

残っている配下を紅緒にけしかけるグリゴローヴィチ。

と同時にステージ奥や劇場入り口などから、黒いパンツスーツ姿の大原一家の組員が怒号と共に雪崩れ込んできて、劇場内のあちこちで乱闘が始まる。

しゃがみ込み、急いでズボンを履き直そうとするグリゴローヴィチ。

その隙を見て、マットレスの上の少女は逃げ出そうとする。グリゴローヴィチがその行方を追おうとした瞬間、目の前には桐野"お春"美春(30)の姿がある。

お春の持っていた特殊警棒で横っ面を殴打されるグリゴローヴィチ。へし折れそうになるほど曲がるグリゴローヴィチの首。奥歯が何本か吹き飛び、思わず口を押さえたグリゴローヴィチの手の間からは血が噴き出している。

お春
ミハイル・グリゴローヴィチ..."レニングラ
ードの赤い豚"、親分はセルゲイだな？

口を覆っていた手を外し、歯が抜けた口の中を「ばあー」とお春に見せつつ、無理して引きつった笑いを浮かべるグリゴローヴィチ。

お春 (CONT'D)
へえ...まだ笑える余裕があるってか。目障り
だよ

お春、さっき拾ったスペツナズナイフをチャッと回転させて逆手に持ち直し、軽く上に振る。グリゴローヴィチの片耳が地面に落ちる。

劇場内に響き渡るグリゴローヴィチの悲鳴。

お春 (CONT'D)
...まあまあ切れるもんだね...
で？さんざん、カタギを泣かせといて...自分
の悲鳴は新鮮だって？

耳を押さえてうめくグリゴローヴィチ。

お春 (CONT'D)
選択肢をやろうかい。一つ、知っている限りの
セルゲイの情報を提供する。
二つ、もう片方の耳と、鼻と、唇を削がれる。
三つ、ここでおっ死ぬ

怯えた目でお春を見るグリゴローヴィチ。

お春 (CONT'D)
(無慈悲な表情でスペツナズナイフ
を目の前に突き付けて)
選びな

汚れたマットレスの上で、目の前で繰り広げられる乱闘を見つめている雪乃。

その時、後ろ手に縛られていた結束バンドが切断され、ロシアン・マフィアからはぎ取ったと思われるトレンチコートを肩から羽織らされる。

見上げると口元に笑みをたたえた紅緒の顔。劇場の窓から差し込む夕陽が逆光になっており、雪乃からは紅緒が後光を背負っているように見える。

紅緒
大丈夫？いま、服を用意させるからね

何か特別で、決定的なものを見てしまったかのような雪乃の表情。

雪乃の顔は殴打により腫れており、目の下には悔し涙の跡、口からは血が流れている。紅緒は手に持っていた蛇の目傘を床に置き、左の袂からハンカチを取り出して雪乃に手渡す。

その時、劇場の暗幕に隠れていたロシアン・マフィアの配下が紅緒と雪乃に向かって銃を向ける。劇場上部の貴賓席から全体を見ていた瑠璃がそれに気づき、声をかける。

瑠璃
紅緒！11時方向、銃！

その声を聞いて振り返り、雪乃をかばうように立つ紅緒。発射された二発の銃弾が紅緒の頬をかすめ、もう一発が肩に当たる。肩部分の布が弾け、着物をじわりと血が濡らす。撃たれたにも関わらず、まったく表情を変えない紅緒。

銃を撃った敵の配下は、黒いパンツスーツの平良"ナギ"渚（27）からティーザー銃で首を撃たれて気絶し、ステージの下に蹴り落とされる。

紅緒
（座り込んでいる雪乃に）
...立てる？

雪乃
（紅緒の肩の傷を見て）
...あの...肩が...

紅緒
カスっただけだからね、何でもないよ

紅緒（CONT'D）
（シクシク泣いている下着姿の少女に目をやり）
その子、助けようとしてここに連れ込まれたんだって？聞いたよ

雪乃
...結果、このザマです

紅緒
（少し笑って）
ここはもうすぐサツが来る。面倒な聴取を受けなくなかったら、今のうちに立って帰りな

雪乃
...はい

お春
お話中すみません、姉御、こいつどうしますか？

すっかり戦意を喪失したグリゴローヴィチがうなだれて座っている。それを見て軽蔑の眼差しを向ける紅緒。

紅緒
（雪乃に微笑んで）
私らは、もう少しかかりそうだからねえ...（前方の仲間に）ナギ！後ろ！

前方で闘っていたナギの後ろからタックルしようとする敵。
紅緒の声かけでその接近に気付き、タックルをかわし、特殊警棒で敵を打擲するナギ。

紅緒 (CONT'D)
...あんた学生かい？もうこの町に二度と近づ
いちゃダメだよ...ここはますます物騒にな
る...もう行きな... (近くの部下に) 誰か！

大原一家の組員Aが紅緒の元にやってくる。紅緒に何か指示を出され、雪乃を外に連れ出そうとする組員A。同じようにしくしく泣いている少女も別の組員に肩を支えられて出口へ向かう。

大原一家の組員Aに肩を貸してもらい、よろよろと出口の方へ歩き出す雪乃。
その後方では戦闘が続いている。

組員A
(雪乃を肩で支えながら)
...大丈夫？出口の方に、服、用意してあるら
しいから、そこまで行こうね

雪乃
...ありがとうございます...あの、さっきの
着物の方は...？

組員A
うちの姉御だよ、格好いいだろ？

雪乃
...あの方の...お名前は？

組員A
(得意そうに)
この街に来れば誰でも知ってる。歌舞伎町の女
不動、大原一家 五代目総長、大原紅緒だよ

雪乃
...大原...紅緒...

肩を支えてもらい歩きながら、もう一度紅緒の姿を見ようと後方を振り返る雪乃。
その視線の先には全体の乱闘を俯瞰しながら、あちこちに指示を出している紅緒の後ろ姿。

項垂れて座っているグリゴローヴィチの前に近づいていく紅緒。お春がグリゴローヴィチの膝を蹴り、注意を促す。

お春
起きろ、赤豚

横目で劇場内の様子を見ながら、ゆっくりと頭を上げるグリゴローヴィチ。
その前に屈み込む紅緒。その目の奥から滲み出る、静かで激しい殺気。

紅緒
...話してもらおうか

紅緒の殺気に押され、小刻みに震え出すグリゴローヴィチ

紅緒 (CONT'D)
てめえらの親玉、セルゲイのことを

暗転

8 INT. 大学の図書館、閲覧室 - DAY

窓際のカウンターにずらりと並んだノートパソコンに向かって次々と文字を打ちながら、何かを検索している雪乃。片目が大きく腫れ、鼻と頬には湿布が貼られている。

画面には「新宿歌舞伎町 大原一家」に関する検索結果が表示されている。

※以下、「ナレーション+写真」もしくは「画面上のテキスト」で表現

「大原一家は東京都新宿区歌舞伎町に総本部を置く博徒系指定暴力団である。構成員は200人（2050年末時点）と言われているが、正確な人数は不明である」

「1969年、有田一家の代貸だった大原彦一（後の大原国明）が老舗博徒・菊地一家の荒木町の縄張りを引き継ぎ、大原一家を結成。その後、拠点も歌舞伎町に移した」

「四代目を継承した大原啓司は、東アジアを襲った2029年のMAOAインパクトの後、行方不明となったが、一説によれば海外のマフィアに惨殺されたという噂もある。その後、大原一家は男の組員の離脱が相次ぎ、一時は壊滅状態に陥った」

「現在の大原一家・五代目総長である大原紅緒は四代目・大原啓司の実子である。都内の大学院で宇宙工学を専攻していたが、実父の失踪に伴い、大学院を中退、その一年後に五代目継承を宣言した。組員を女性だけで組織し、壊滅状態であった大原一家を再興させた」

「フロント企業や準構成員数を含め、新宿歌舞伎町に存在する日本人の組織としては最大の勢力を誇っているとされる。公安委員会からは東京における博徒組織の主要団体等として位置づけられ、米国政府からも国際犯罪組織と認定されている」

ノートパソコンの画面を見ながら、次々と検索文字を打ち込んでいく雪乃。

窓の外はすっかり暗くなっている。

9 EXT./INT. 新宿歌舞伎町、裏通りのカフェ - DAY

通りが見える全面ガラス張りのカウンター席に座り、正面にある大原一家のビルの出入りを観察している雪乃。まだ顔の腫れが完全には引いておらず、痛々しさが残っている。

数人の出入りは確認できるものの、紅緒は現れない。

口をつけないまま湯気が消え、冷めていくコーヒー。

10 EXT. 新宿歌舞伎町、裏通り、大原一家ビル - LATER

電信柱に隠れてスマホをいじるフリをしながら、ちらちらとビルの入口を見ている雪乃。
その時、背後からの気配を感じて振り返ろうとするが、その瞬間、ナイフを頬に当てられる。

組員A
(小声で)
誰だよ、てめえ。こそこそ嗅ぎ回りやがって。
どこのもんだ？

雪乃
...人を、探してて...

組員A
誰を？質問に答えな、誰に頼まれた？

雪乃
(深呼吸して)
...二週間前、劇場で助けていただいて...

ナイフを離し、雪乃の肩を小突いて自分の正面に回転させる組員A。

組員A
(雪乃の顔を見ながら)
カシラあ、こいつ見覚えありますか？

組員Aの後方の暗闇から、ぬっと身体を表すお春。しばらく雪乃の顔を眺めて。

お春
(少し驚いて)
あの時の... (組員Aに) もういいよ

雪乃の眼前に突きつけていたナイフを下ろす組員A。安堵のため息をもらす雪乃。

お春 (CONT'D)
どうしたの？もう歌舞伎町には来るなって、うちの姉御にも言われたんだろ？

雪乃
...あの時、ちゃんと、お礼が言えてなかったんで...

お春
(笑って)
義理堅いのはいいけどさ、でも...

雪乃
(遮って)
...ああいう奴らと、この街でやり合ってるんですよね？

お春
(少し驚いて)
...そうだけど

雪乃
 (告白するような表情で)
 ...私、剣道四段で、居合いも...

お春
 (手でそれを遮って)
 知ってんだろ？例のスーパーフレアだか何だかで男の極道がいなくなってから、ここは人外マフィアの"狩場"になってんだよ。警察も頼りにならねえ...だから、あんな事件が起こる...

二週間前の屈辱を思い出したのか、無言で唇を噛む雪乃。

お春 (CONT'D)
 あんたがさ、あいつらを許せないってのは分かるよ...でも、あんた学生さんだろ？カエシはうちに任せて、あんたは学業に専念しなよ

無言のまま俯いて話を聞いている雪乃。

お春 (CONT'D)
 ここは、うちみたいなの後戻りできない奴とさ、人の命なんて何とも思わない、ハゲタカとの殺し合い...
 学校とか、戻れるところがあるんだったら、近寄るべきじゃないよ。その方が姉御も喜ぶ...

まだ納得がいかないという表情で顔を上げ、お春の目を真っ直ぐに見る雪乃。

雪乃
 ...失礼します...

会釈をし、回れ右をして肩を落としながら遠ざかって行く雪乃。

組員A
 いいんですか？帰しちゃって？

お春
 なにがよ？

組員A
 あいつ、相当根性座ってますよ。うちも人が足りないし...

お春
 (残念そうに)
 ...仕方ねえだろ、姉御の方針なんだから...
 そろそろ会合だからさ、戻るよ

雪乃を見送って、大原一家のビルに入って行くお春と組員A

備え付けのベッドに横たわり、ぼんやりと天井を見ている雪乃。首を傾けて視線を壁の方にずらすと、壁には羽織袴姿の老人と雪乃の写真、そして本黒檀の木刀が飾られ、鈍い光を放っている。

QUICK FLASHES :

ー 子供時代の雪乃（7）に竹刀を持たせ、手に持った木刀に打ち込みをさせる雪乃の曾祖父、高野 喜三郎（83）の姿。汗だくになりながら、竹刀を振るう雪乃を見て、真剣な表情ながら、時折顔を綻ばせる喜三郎。

喜三郎(V.O.)
 ...雪乃、女に生まれたからって、周りの価値観に自分をはめるんじゃないよ...お前は他の女の子とは違うから...

場所を変え状況を変え、曾祖父が雪乃に遺していった言葉が様々な情景と共に雪乃の脳裏にフラッシュバックとして次々に蘇っていく。

ー アメリカの公園と思われる場所のベンチに座り、身振り手振りを交えながら、幼い雪乃に向けて、日本の古い歴史や道徳を伝えている喜三郎。

喜三郎(V.O.) (CONT'D)
 ...自分のためだけに生きるってのはなあ、本当は空しいことなんだ。だから、胸を震わせる誰かに出会うことが出来たら、その人のために生きなさい...

ー 日本の組織犯罪のニュース（特殊詐欺）を伝えるアメリカのテレビ放送の画面を見ながら、肩を落としている喜三郎

喜三郎(V.O.) (CONT'D)
 ...日本では、もしかしたら仁侠、義侠の心は死んだのかもしれない...でも、義侠は日本人の魂、日本人の背骨、だから...

ー 肌身離さずに持っていた本黒檀の木刀を雪乃の眼前に差し出す喜三郎

喜三郎(V.O.) (CONT'D)
 ...迷ったら、この木刀を振れ。そして、自分の心と話し合うんだよ...

BACK TO PRESENT

立ち上がり、飾られた木刀を手に持つ雪乃。本黒檀の木刀の刀身部分には「義侠」という文字が彫られている。

雪乃
 (木刀の刀身を見ながら)
 ...義侠...か...

木刀を上段に構え、部屋の中で素振りを始める雪乃。何かを振り払うように、そして決意を固めるように木刀を振り続ける。

何回目かの素振りをしたときに、思わず手がすべってしまい、すっぽ抜けた木刀が部屋の窓ガラスを突き破っていく。
窓の外の通りで「キャー!!!」という悲鳴が聞こえてくる。

雪乃 (CONT'D)
(信じられないような顔で)
...えー...?

雪乃の部屋をどんとどんと強く叩くドアの音が響く。

シャーリーズ (O.S.)
ちょっと雪乃?! なに今の? 強盗?... 警察呼ぶ? 雪乃!?

「やってしまった...」という表情でドアの方を振り向く雪乃の顔。

12 INT. 新宿、高級ホテル、ミーティングルーム - NIGHT

大理石の長いリビングテーブルを囲み、紅緒を含めた五人の女たち、韓国系女マフィアの頭目、クォン・ミナ (32) と、上海系女マフィアの頭目、ヴィクトリア・タン (34)、モンゴル系女マフィアの頭目、サラントヤ (40)、中国東北部系マフィアの頭目、ドン・ジンチュウ (36) が座っている。

紅緒の後ろには大原一家の本部長、中間 梨奈 (29) が立っており、それぞれの頭目の後ろには、参謀、もしくはボディガードと思われる女が一人ずつ直立不動で立っている。

サラントヤ
...あと、先週、北新宿のうちの店に強盗が入って従業員がケガした。あとで画像送るので情報があったら送って欲しい。100万、報酬出す。

ヴィクトリア
(スポンジで爪を磨きながら)
100万... あんたらにしては懸賞金、はずんでるね。心当たりはあるの? 身内?

サラントヤ
そこまで言う必要ない

ヴィクトリア
(笑って)
わかったよ。身内の恥は晒したくないもんねえ...

サラントヤ
(それを無視して)
議題、他にはない? だったら解散するか

椅子に片膝を立てて座っているドンが静かに手を上げる。

サラントヤ (CONT'D)
...ドン、何か?

ドン
最近、代々木の方で南米系の男たちが調子に乗
ってる。叩いていいか？

ヴィクトリア
叩くって、どの程度？

ドン
二度と歯向かう気がなくなるくらい

ヴィクトリア
...南米系は駆除しても駆除してもやってく
る。イナゴみたいに。日本は落ちぶれたけど、
繁華街はまだまだ稼げるからね

ドン
(ヴィクトリアを無視して)
叩いていいか？

クオン
うちは構わないよ、付き合いがないし

紅緒
私たちも構わない

サラントヤ
問題ない

ヴィクトリア
...うちはちょっと付き合いあるんだよね
え...程度によるかな...

忌々しいものを見るように、ヴィクトリアの顔を睨むドン

13 INT. 同、ミーティングルーム前の廊下 - CONTINUOUS

廊下では、ヴィクトリアとドンのボディガードが、自分たちの国の言葉で相手の悪口をぶつぶつ呟いている。

「狗みたいな顔だな」「貧相な靴を履いている、金がないんだな」「親は野犬な
んだらうな。肌も黒いし」「髪は自分で切ってるのかな、哀れだな」「処女は独
特の匂いがするね」「あの鼻が自分の鼻だったら灯油被って死ぬわ」

その不毛な言い合いを見て、直立不動のまま静かにため息をつくお春。

14 INT. 新宿、高級ホテル、ミーティングルーム - CONTINUOUS

ドン
(眉間にシワを寄せて)
程度、とは？分かりやすく言いなよ

ヴィクトリア
(爪を磨きながら)
まあ...死人が出なきゃいいよ

ドン
...わかった。約束する

ヴィクトリアとドンの話が纏まり、少し安堵したような空気が部屋に流れる。

ドン (CONT'D)
...そう言えば、来月、ロシアのボリス・アル
チャコフが父親の一周忌をやるために東京に来
るらしい

ボリスという名前を聞き、ぴくりと反応する梨奈と、ポーカークフェイスの紅緒。

クオン
ボリスって、あのセルゲイ親衛隊のサディスト
の？いま北海道って聞いてたけど...？

ドン
...さあ？ただの枝の情報だ

クオン
ふーん、どこでやるの？

ドン
池袋のロシアン・ビルだそうだ

ヴィクトリア
(紅緒の方を向いて)
...紅緒のところは？ロシアと最近また揉めた
って聞いたけど？

紅緒
うちのシマで悪さしてたからシメただけだよ。
揉めたってほどのことでもない...

ヴィクトリア
(お見通しとでも言うように)
そうなんだ？ふーん...大原一家ってさあ、み
んなセルゲイと縁が深いんでしょう？

無言のまま、努めてポーカークフェイスを保とうとしている紅緒。

クオン
...ヴィクトリア、なんか、言いたいことでも
あるの？肚、見せなかったら、この会合の意味
もないだろうが

ヴィクトリア
別に...何も

沈黙。

紅緒
ドン、さっき"枝の情報"って言ってたけど、そ
れってどこから？

ドン
 フロントの鍋料理屋の女将がロシアの男とデキ
 てんだよ。その男が"ボリスが東京に来るみた
 いで最近みんな落ち着かない"って

ヴィクトリア
 (ニヤニヤしながら)
 何？紅緒、気になるんだったら私らでも調べよ
 うか？

紅緒
 ...いや、いい。気持ちだけいただいとくよ

クオン、横に座っている紅緒の顔を見る。梨奈は他の頭目たちの挙動を見逃さな
 いように頻繁に眼球を動かしている。

サラントヤ
 (テーブルを見回して)
 ...じゃあ、終わろうか

長居は無用とばかりに立ち上がり、次々と部屋を出ていく女頭目たち。椅子に座
 ったまま考え事をしている紅緒にクオンが声をかける。

クオン
 紅緒、来月、先代の命日なんだろ？

声をかけられたことで、考え事を中断され、一瞬はっとした表情になり、静かに
 頷く紅緒。

クオン (CONT'D)
 うちの国はさ、2020年代まで造花だったん
 だ、墓前に捧げるのが。枯れないからね

無言のまま、クオンの真意を計ろうとする紅緒。

クオン (CONT'D)
 事務所に祭壇あるんだろ？日本人の好きな菊の
 生花でも贈ろうか？

紅緒
 (少し考えて)
 ...いや、父は花が好きじゃなかったから

クオン
 (ムツとして)
 ...ほんと、愛嬌のない女だね...

ボディガードを促し、部屋を出ていくクオン。紅緒は前方を見つめながら考え事
 に集中している。

梨奈
 姉御、そろそろ...

紅緒
 (はっと我に返り)
 そうだね、行こうか...

15 INT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、大広間 - DAY

三十畳くらいの広さの和室で定例会議が行われている。
床の間を背に、部下達の報告を聞いている紅緒。

お春
ほかに、報告事項は？もう無い？

静かに頷く組員たち。

お春 (CONT'D)
(紅緒の方を向いて)
本日の報告事項は以上だそうです、それでは...

紅緒
(遮って)
カシラ、ごめん

お春
はい

大広間に集まった組員たちが上座の紅緒に一斉に視線を向ける。

紅緒
みんなに話しておきたい。ロシアのボリス・アルチャコフが来月、父親の一周忌で東京に来るらしい

お春
(ぐっと顔を上げて)
ボリスって、あのセルゲイの部下のボリスですか？

無言で頷く紅緒。大広間に広がるどよめきの声

お春 (CONT'D)
...ボリスの父親って、確かセルゲイにとっての恩人みたいな奴でしたっけ？一周忌、どこでやるんですか？

紅緒
池袋のロシアン・ビルだと聞いた

お春
...ということは、地下に潜ってるセルゲイも...？

梨奈
いや、それはわからない。ただ、ボリスの父も大物だったから、関東の主な頭目は来るだろう

お春
それ、どこからの情報？

梨奈
昨日の会合で、福建系のドンが言ってた

お春
...ドンか...うん

梨奈
ガセを流してるかもって？何のために？

お春
いや、ドンには散々煮湯を飲まされたからさ、
つい疑っちゃうんだよね...日程は？

昨日の会合の内容を大広間の組員に説明する梨奈。

それを聞いている最中、紅緒の脳裏には父親をセルゲイとボリスに殺されたシーンがフラッシュバックする

BEGIN FLASHBACK：8年前

拘束された紅緒（24）の目の前で、五右衛門風呂のような大きな鉄釜が炎で熱され、中の油がパチパチと跳ねている。鉄釜を囲む、ロシアン・マフィアたち。

そこにクレーンで吊るされた紅緒の父、大原 啓司（48）がそれに浸けられていく。「ジュワー」と大きな音が鳴り、この世のものとは思えない絶叫が辺りに響き渡る。

一大スペクタクルを見るように、両手を上げて目の前の惨劇を全身で楽しんでいくボリス・アルチャコフ（40）。

フロアの奥にはソファに座ったセルゲイ・バリシニコフ（43）がそれを眺めながら優雅に紅茶を飲んでいる。

地面に転がされ、涙も枯れた紅緒の目から、赤い液体が一筋流れる。

END FLASHBACK：

大広間で梨奈の状況説明が終わったところで紅緒が口を開き始める。

紅緒
...二週間前、劇場で捕まえたグリゴローヴィチ。あいつはただの下っ端で、そもそもセルゲイにも何回か会ったことがあるだけ、居場所も、連絡先さえ知らなかった

一言も聞き漏らすまいと集中して紅緒の話を聞いている組員たち

紅緒（CONT'D）
でも、ボリスなら、セルゲイに繋がる情報を持っていると思う。そして、ボリスは...

紅緒 (CONT'D)
 (苦渋の表情で)
 私の、個人的な仇でもある

16 EXT. 東京郊外、セルゲイの邸宅、庭 - EVENING

広大な洋館。噴水のある広い中庭で日本人の少年とボール遊びをしているセルゲイの後ろ姿。
 中庭に面している部屋のガラス戸を開け、部下Aがセルゲイに声をかける。

部下A
 ボス、お電話です

遊びが中断されたことに不服そうな表情を浮かべる日本人の男の子。

セルゲイ
 (日本語で男の子に)
 また明日やろう。約束だ

男の子とハイタッチをして、中庭に面した書斎に入っていくセルゲイ。
 ロシア人にしては身長が低く、薄くなった金髪を9:1に分けている。
 感情がまったく読めない爬虫類のような目と、酷薄そうな唇。

17 INT. 同、セルゲイの邸宅、書斎 - CONTINUOUS

高級な調度品が並ぶ書斎。部下Aからうやうやしく差し出された銀のお盆の上のス
 マホを手に取り、椅子に座って電話に出るセルゲイ

セルゲイ
 (顔を綻ばせて)
 やぁボリス、元気か

セルゲイ、机の上にあったペーパーナイフを手に取り、撫で回す

セルゲイ (CONT'D)
 いつこっちに来るんだ？いろいろ用意して
 るぞ。お前のために

18 EXT. 東京郊外、セルゲイの邸宅、庭 - CONTINUOUS

セルゲイと入れ違いに部下Aが中庭に降りてくる。日本人の男の子に近づくと、男
 の子にはにこやかな顔で両腕を差し出す。部下Aが後ろポケットから何かを取り出
 し、男の子の手にガチャリと手錠をはめる。

19 INT. 都内、留学生寮、雪乃の個室 - EVENING

個室の中で一心不乱に木刀を振っている雪乃。木刀の柄の部分には滑り止めのテ
 ープが貼ってある。何かを振り払うように木刀を振り続ける雪乃。

喜三郎(v.o.)
 ...自分のためだけに生きるってのはなあ、本当は空しいことなんだ。だから、胸を震わせる誰かに出会うことが出来たら、その人のために生きなさい...

部屋の床に滴り落ちた雪乃の汗が小さな水溜りを作っている。

20 INT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、大広間 - EVENING

静まり返っている大広間。組員たちは微動だにせず、紅緒の次の言葉を待っている。

紅緒
 いま、うちがロシアと全面戦争するのは危険だ。準備が足りない...おまけにこれは私情も混ざってる、あの二人に対して...だから

お春
 (遮って)
 ただ、奴らはここ数ヶ月、アフリカンや南米と組んで、これまでにない攻勢を仕掛けてきて、うちのフロントの店も何軒かやられました

お春の話聞き、考え込んでいる様子紅緒と、腕組みをする梨奈

お春 (CONT'D)
 二週間前のグリゴローヴィチの件だって...あいつら職安通りを超えてくることはこれまでになかったんです

梨奈
 ...調子に乗ってたよ、先月、イタリア系とアルバニア系が引き揚げたからさ...

眉間にシワを寄せ、深く考え込んでいる紅緒

お春
 あの悪魔みたいに用心深いセルゲイを捕まえるのは難しい...そもそも池袋に来るかどうかも分からない、でも...

梨奈
 父親の一周忌を仕切るボリスに絞れば叩けるし、攫えるかもしれない...か

お春
 (瑠璃に)
 情報顧問、向こうの人数は？最新の数字で

瑠璃
 (ノートパソコンを見ながら)
 新大久保が20人、池袋が30人くらい。ただ...

お春
ただ、何ですか？

瑠璃
問題が二つ。ボリスがいつ池袋に入るか... 法
要の仕切り役だから、さすがに当日入りはない
だろうけど、まず日にちが読めない。
あとはロシアン・ビルに来るボリスの車をどう
やって特定するか...

梨奈
どちらにしろ、池袋に人数出さないと何もでき
ないね...

お春
(少し考え込んだ後、紅緒に)
...姉御、歌舞伎が手薄になるとしたら、この
時期だけ、クオンかヴィクトリアの組織と組ませ
ませんか？

紅緒
クオンと、ヴィクトリア...

お春
これまでも小競り合いはありましたが、向こう
も女だけの組織だし、満洲系やモンゴル系より
はロシアとの縁は薄いかと...

梨奈
...確かにその二つよりはマシかもだけど、ク
オンもヴィクトリアも肚が読めないよね...

紅緒
いずれ、シノギを介しての同盟は考えてたけ
ど、あの会合のバランスも崩れるし、根回しす
るにも時間が足りない

お春
...そうですか、せめて背中だけでも守れれば
と思ったんですが...

紅緒
(思い詰めたように)
情報が漏れるリスクが大きすぎる。やるんだっ
たらうちらだけでやるしかない...そして

紅緒 (CONT'D)
...それは皆の命を危険にさらすことになる

沈黙。

お春
姉御

ゆっくり顔を動かし、お春の目をまっすぐ見る紅緒。

お春 (CONT'D)
セルゲイへの怨みは...ここにいるみんな、同じじゃないですか？みんな、あいつに人生狂わされて、踏みつけられた

梨奈、納得したように何度も頷いている。他の組員もセルゲイへの恨みを思い出したのか、唇を強く噛んだり、目に涙をためたりしている者も。

お春 (CONT'D)
...あの腐れ外道だけは生け捕りにして、この世にいる間に、地獄の炎を吸わせてやりましようよ

その意見に同意するように、一人の組員が片膝を手の平でバシッと叩く。すると、大広間に集まっている組員たちが、正座したまま、同じように片膝を叩き出し、その音が徐々に大きくなって行って広間を包む。

紅緒
(決意を固めた表情で)
...わかった

ひとつの結論が出たことで、晴れやかな表情を浮かべているお春と梨奈。

紅緒 (CONT'D)
シノギも止まるし、大きなリスクもある。そもそも情報自体がガセの可能性もある。だが、ここで動かない理由はないし、前に出るのはこの時しかない...

紅緒 (CONT'D)
来月、親の一周忌を仕切るボリスを叩く。可能なら生け捕り、セルゲイについての情報を引き出す。いいね？

全員
はい！

21 EXT. 池袋の雑居ビルの屋上 - DAY

池袋のロシアン・マフィアの本拠地を見下ろす雑居ビルの屋上。雨の降りしきる中、男装して雨具を着込んだ大原一家の組員が、アンテナ工事の業者を装い、監視カメラを次々に仕掛けていく。

22 EXT./INT. 新宿歌舞伎町、裏通りのカフェ - DAY

雨の歌舞伎町。全面ガラス張りのカウンター席に座り、コーヒーを飲みながら、目の前にある大原一家ビルを眺めている雪乃。

ビルに出入りする黒いパンツスーツ姿の組員たちを見て、軽くため息をついている。

23 INT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、ITルーム - DAY

部屋に並べられた複数のモニターをチェックする紅緒とお春たち。

モニターに映るロシアン・マフィアのビルの一階はレストランになっており、数人の配下がテラス席に座りながら辺りを伺っている。

梨奈
ビル内部に小型ドローンは？飛ばせませんか？

瑠璃
赤外線で見ると、入り口に電磁網があるのでそこで絡め取られる。
ビルからも複数帯域の妨害電波が出てて、もしドローンを捕獲されてこちらの偵察に気付かれたら襲撃自体の難易度が上がる

紅緒
人の出入りは？どのくらい？

瑠璃
まだ監視を始めて3日目だけど、平均して50人くらいかな

紅緒
あのビルの近くで正面作戦は利が無さすぎるね...

梨奈
爆弾は？陽動作戦で、ボリスが来る前に出入り口近くで爆発させたら？

瑠璃
隣は日本人経営の店だし、人通りも多い。飛び道具でカタギは巻き込めない...

天井を仰いで大きなため息をつく梨奈

紅緒
瑠璃、ボリスの車は？特定できない？

瑠璃
どの方向から来るか、分からないからね...

作戦会議を続ける大原一家の幹部たち。

24 INT. 東京郊外、セルゲイの邸宅、書斎 - DAY

書斎の扉が開き、白いスーツを着込んだ長身で大柄のボリスが入ってくる。それを和かな表情で迎えるセルゲイ。

部屋の中央で抱き合い、お互いの肩を叩き合う二人。低身長 of セルゲイを包み込むようなアンバランスな抱擁だが、ボリスがセルゲイに最大限の敬意を表しているのは所作に現れている。

セルゲイ
(ボリスの肩を叩いて)
壮健だな、どうだ？北海道は？

ボリス
(大袈裟に困った顔を作って)
東京に比べると退屈ですよ、早く戻りたいです

セルゲイ
まあタイミングを見よう。お父さんの一周忌だが、私も行けたら行くよ。とても世話になったから

ボリス
(目を輝かせて)
本当ですか？父も喜ぶと思います

セルゲイ
(意味ありげな表情で)
今夜は、ゆっくりしていけるんだろう？

ボリス
(少しニヤッと笑って)
はい、そのつもりで来ました

書斎から見える中庭に目を向けるボリス。中庭では子供たちが遊んでいる。

25 EXT./INT. 新宿歌舞伎町、裏通りのカフェ - DAY

全面ガラス張りのカウンター席に座り、読書をするふりをしながら、目の前にある大原一家ビルを見ている雪乃。

読んでいる本のタイトルは「義理と人情（山折哲雄）」。
雪乃の席には布袋に入った木刀が立てかけてある。

雪乃
(独り言で)
...ストーカー...なの?...か...私は...?

自分でも自分の心が掴めず、大きなため息をつく雪乃。

26 INT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、ITルーム - 夕方

部屋の中には何度も書き直されたと思われるホワイトボードがあり、そこにマグネットがいくつか貼ってある

紅緒
 (ホワイトボードを見ながら)
 お春、梨奈、どう思う？

お春
 ...現段階ではベストのプランだと思います。

梨奈
 私もそう思います。どちらにせよ損害は免れないかと...

紅緒
 そうだね...ただ、私の役目だけ変更していい？

紅緒、ホワイトボードに貼ってあったマグネットを少し離れたところに動かす。

お春
 (驚いて)
 いや、それはさすがに...

梨奈
 別の、大きなリスクを背負うことになりましたが...

紅緒
 (二人をまっすぐ見つめて)
 頼む

モニターを見ながら、瑠璃が腕を組んで考え込み、大きなため息をつく。

瑠璃
 ...作戦だけのことを考えれば、成功率は上が
 ると思う...よ

不安そうに顔を見合わせるお春と梨奈。

その時、ITルームの扉が勢い良く開き、組員のナギが駆け込んでくる。

ナギ
 連絡が入りました！ボリス、明日、池袋に入る
 そうです！
 内偵を入れていた、ドンのフロントの鍋料理屋
 の女将からの一次情報です！

その報告を聞き、視線を合わせる紅緒とお春たち。

27 EXT. 池袋、繁華街の一角 - DAY

街のあちこちに商用車を偽装した大原一家のハイエースが停められている。
 車内で待機し、インカムで連絡を取り合っている大原一家の組員たち。

タブレットを手に、緊張した面持ちであちこちに仕掛けた監視カメラの映像を確認している梨奈。

梨奈がハイエースの窓から空を見ると雪が降っている。

梨奈
雪か...吉兆...かな？

梨奈の独り言をインカムで拾い、返答するお春。

お春
(少し笑って)
そうだね。姉御も雪が好きだよ

曲が流れ始める。曲に合わせて、大原一家がそれぞれの戦いの準備をしているところが映し出される

「修羅の花 梶 芽衣子」

死んでいた朝に とむらいの雪が降る♪
はぐれ犬の遠吠え 下駄の音きしむ♪

28 EXT. 池袋、ロシアン・ビル - DAY

ビルの正面に一台のタクシーが止まり、中から白い着物姿の紅緒が一人で降りてきて、手に持っていた蛇の目傘を開く。表情はまったく見えない。

因果な重さ みつめて歩く♪
闇を抱きしめる 蛇の目の傘一つ♪

顔は見えないものの、その白い着物姿からは濃い色気が漏れている。それを見てレストランのテラス席で見張りをしていた配下の2人が興味深そうに声をかける。

いのちの道を行く女 涙はどうに捨てました♪

配下A
なあ、着物の下ってパンツはいてないってホント？

下卑た笑いで追従する配下B。紅緒の蛇の目傘に雪がはらはらと落ちている。

紅緒
さあ、どうでしょうか。今朝は急いでいたもので...

反応してくれたことに気を良くして、さらに下卑た笑いを上げる配下たち

「修羅の花」の一番の歌詞が終わり、そのメロディを踏襲したまま、現代風の激しいビートアレンジに変わっていく。

紅緒 (CONT'D)
不思議なことに、今日はね、命日なんですよ。
私をととても可愛がってくれた、父のねえ

配下A
(笑って)
ここ、別に寺でも墓でもないけど？
連れてってあげようか、俺が？

配下Aがテラス席から立ち上がり、紅緒のところに寄ってくる。
それをニヤニヤ笑いながらはやし立てる配下B。

紅緒
...あら、いいんですか？じゃあお願いしよう
かしら

ずけずけと、紅緒のさしている蛇の目傘の中に入ってくる配下A。
紅緒は俯いたままで表情が見えないまま。

紅緒 (CONT'D)
...父も喜ぶと思いますよ、あなたたちが同行
してくれるなら...

配下A、意味を図りかねるような複雑な表情で首を傾げる。

紅緒 (CONT'D)
(ゆっくりと顔を上げて)
そう、地獄の道行きにねえ...

紅緒、帯から短刀を取り出し、配下Aの顎から脳天に刺す。
傘の中に入った配下Aが直立不動のまま身体を痙攣させているのを見て、不審に思
い始める配下B。良く見ると、配下Aの足がプラプラと宙に浮いている。

紅緒が短刀を抜くと、すでに絶命している配下Aがバタッと路上に倒れる。
雪が積もり始めた地面に、配下Aの血が静かに流れている。

紅緒 (CONT'D)
これからねえ、私のかわいい妹たちが身体を張
るんだよ。私の、個人的な復讐のためにね
え...

配下B、持っていたカード状のボタンを押すと、ビル全体に警報音が鳴り響く。

配下B
вражеская атака! (敵襲だ!)

紅緒
(それに構わず)
だから姉としてはさ、最前線で身体を張るのが
当然だろう？

配下B、銃を取り出し、紅緒に向けて発砲するも防弾仕様の蛇の目傘に阻まれ、あ
っという間に弾切れになる。

紅緒、短刀を近くに投げると、帯から野球ボール大のカプセルを取り出し、ビルの出入り口に投げる。
破裂したカプセルから細いワイヤー状のものが蜘蛛の巣のように出入り口の四方に張り付き、勢いよく出口に向かってきた敵の配下たちがワイヤーで身体を切られ、悲鳴を上げながら後退していく。

正面出口から出られなくなったことに気付く敵の配下たちは口々に「非常口だ！」と言いながら裏口に回り、他の配下たち手に持っている銃や棒などでワイヤーを断ち切ろうとしている。

29 EXT. 同、ロシアン・ビルの裏口 - CONTINUOUS

裏口に回ったロシアン・マフィアたちだが、非常口を車で塞がれていて、外に出ることが出来ず、ドアをガンガン叩いている。

30 EXT. 池袋、ロシアン・ビル、正面 - MOMENTS LATER

ゆっくり蛇の目傘を閉じ近づいてくる紅緒に恐怖の眼差しを向ける配下B。

紅緒
私の役目はねえ、時間稼ぎだよ。
ちいと遊んでやろうかい。来な

嗜虐的な笑みを浮かべ、掌を上、指先をクイと動かして手招きをする紅緒。

31 INT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、ITルーム - EVENING

複数のモニターを同時に見ながら、池袋のビルに向かってくる車のサーモセンサーの結果を読み取り、襲撃部隊に指示を出している瑠璃。

瑠璃
品川ナンバー！黒のミニバン！前席二人、後席一人！

瑠璃は続けてマップ上の信号機のマークをタップしている。目にも止まらぬ超人的な動き。

32 EXT. 池袋、繁華街近くの交差点A - CONTINUOUS

前方の信号が急に赤になり、不審そうな表情を浮かべつつ、ハッキングされた信号の前で車を停車する運転手。

次の瞬間、交差点の近くに潜んでいたオフロードバイクが唸りを上げて車の前後に突っ込んできて、わざと車の前後で転倒して車を挟み、近くに待機していたバンから大原一家の組員がサブマシンガン片手に出てくる。

運転手と助手席の人間が銃を抜き出すのを確認して発砲し、後部座席のドアを開けると、ボリスではない太った男が両手を上げて震えている。

組員c
(スマホを掲げながらロシア語で)
顔を上げろ、確認できれば殺さない

後部座席の男
(ゆっくり顔を上げながら)
ワタシ、カンケイナイ! ビジネスマン!

組員cの掲げたスマホの顔認証システムが大原一家のデータベースから男の素性を瞬時に検索し、画面に表示される。

組員c
(インカムで)
八王子のミハイルです、ボリスの子分の

梨奈
(インカム越しに)
やれ

ミハイルは自分の素性が把握されたことに気付き、銃を取り出そうとしたところを組員cのサブマシンガンで撃たれる。

マシンガンの閃光で赤く染まる組員cの横顔。

33 EXT. 池袋、繁華街近くの交差点B - CONTINUOUS

同様のボリス探しの襲撃が数カ所で繰り返される。

車に日本人やアジア系が乗っていた場合は、銃を突きつけた後、速やかに謝罪してハッキングした信号と転がしたバイクを戻し、再び交差点近くの街路樹の茂みに隠れる組員たち。

また、早い反撃に遭って撃たれたり、バイクを乗り越えようと急発進した車に撥ねられて負傷する大原一家の組員たち。

負傷した組員たちのところには大原一家のロングバンが乗り付け、次々と回収している。

34 EXT. 池袋、ロシアン・ビル、正面 - MOMENTS LATER

紅緒に向かって銃を投げつけ、タックルしてくる配下B。それを開いた傘で闘牛士のように軽くいなし、すれ違いざまに配下Bのうなじに短刀を突き立てる紅緒。

正面入り口のワイヤーを切断して突破した配下が数人出てきて、紅緒を指差し、何か叫びながら発砲してくる。

再び蛇の目傘を開いて銃弾を防ぐものの、そのうちの一発が紅緒の太もも近くをかする。白い着物を赤く染めながら、表情も変えずにゆっくり前進する紅緒。

蛇の目傘の柄に仕込んであった刀をゆっくり引き抜く紅緒。細身ながら、鋭い光を放つ日本刀の輝き。

片手に蛇の目傘、片手に日本刀を持ち、大振りのナイフや鉄パイプを振りかざして襲ってくる配下たちと激しく斬り結ぶ紅緒。

35 EXT. 池袋、繁華街近くの交差点C - MOMENTS LATER

後部座席のドアを開ける組員D。そこには白いスーツを着た大柄で無表情の男が座っている。

その顔を確認し、部下Dがまるで財宝を発見したかのような興奮した表情で叫ぶ。

部下D
ボリスです！ボリス捕獲！！

その声をインカムで聞き、興奮を隠せないお春や梨奈たち。運転席と助手席にいたロシアン・マフィアたちは組員Eにホールドアップされ、無表情で震えながら手を上げている。

バイクの後部座席にまたがり、その車のところにやってきたお春が、ボリスの顔を確認しようと後部座席を見る。

ボリスは目を大きく開いたまま、「うーうー！」と唸りながら足をバタバタ動かしている。

不審に思い、確認しようとするお春。だが、ボリスの唇が接着剤のようなもので塞がれており、上半身が後部座席に結ばれて拘束されていることに気付く。足元には汚れたボストンバッグのようなものが置かれている。

お春
(素早くドアを閉め、部下DとEに)
...離れろ！！

車から急いで退避するお春たち。次の瞬間、車が爆発し、逃げ遅れた組員Eが運転席の窓から吹き出した爆風をまともに食らってしまう。

お春も腕に火傷を負いながら、爆風にさらされて顔が半分焼けた組員Eを抱き抱え、インカムに向かって叫ぶ。

お春 (CONT'D)
ボリス死亡！拘束され、爆弾を背負わされた！罨だ！繰り返す、これは罨！
至急、歌舞伎に戻れ！

36 EXT. 池袋、ロシアン・ビル、正面 - CONTINUOUS

お春の報告を聞き、苦渋の表情を浮かべる紅緒。紅緒の周りには十人近いロシアン・マフィアの配下たちが血塗れで倒れ、うめき声を上げている。

そこに大原一家のミニバンがやってきて紅緒を後部座席に乗せる。

紅緒
 ...負傷者を回収し、撤収！...歌舞伎に戻るよ！

タイヤを軋らせ、急発進するミニバン。

37 EXT. 池袋、繁華街近くの交差点C - CONTINUOUS

お春も梨奈も、それぞれ負傷した部下を抱えながら車に乗り込んでいく。

38 EXT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル - MOMENTS LATER

ビルの正面前に乗り付けられる三台の車。

中から15人くらいの大柄な男が降りてきて、ビルの前で見張っていた大原一家の組員二人に向けて発砲する。防弾チョッキを着ていた二人の組員は腹部に銃撃を食らい、その場に倒れ込む。呻く二人。

配下F
 (うめいている組員を見下ろして)
 どうします？殺しますか？

配下G
 馬鹿か、お前。テイクアウトするに決まってるだろ。車に詰め

配下たち、うめいている組員を結束バンドで拘束し、乗ってきた車に詰め込んでいる。ふざけながら組員の身体を触りまくる配下たち。

39 EXT./INT. 道路を走るミニバン - MOMENTS LATER

ミニバンの後部座席に座り、無表情のまま下唇を噛み締めている紅緒。

40 INT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、二階玄関前 - MOMENTS LATER

階段を登った先にある大原一家の鋼鉄製ドアを、大型のエンジンカッターで切断している配下たち。

41 INT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、ITルーム - CONTINUOUS

防犯カメラに写っているロシアン・マフィアたちを見て

瑠璃
(呆れたように)
...あーあー、ったくバケモノみたいなカッター
だね...

42 EXT./INT. 道路を走るミニバン - MOMENTS LATER

梨奈
(インカムに向かって)
...顧問!...瑠璃さん!いま高田馬場を過ぎ
ました!ITルームに入って、隠れていてくだ
さい!もうすぐ着きます!

43 INT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、ITルーム - CONTINUOUS

瑠璃
...いや、ご大層なカッター持ってきてるから
無理かな。一緒に吹き飛ばしてやるよ...

瑠璃、デスクの引き出しを開け、アタッシュケースを取り出して開けると、中にはC-4爆薬が詰まっている。爆薬に巻かれていた機器の電源を入れ、そこに入っていたデトネーター（遠隔起爆装置）を手に取り、電源を入れる瑠璃。

瑠璃 (CONT'D)
お春、梨奈、紅緒を頼んだよ。私の墓前に花は
いらない。セルゲイの首を供えてね...

梨奈
(インカムに向かって)
...瑠璃さん!

瑠璃、引き出しの中にあった誰かの煙草に震える手で火をつけて吸い、咳き込む

瑠璃
(苦笑して)
...やっぱり不味い...吸わなくてよかつ
た...ハハハ

44 EXT./INT. 道路を走るミニバン - CONTINUOUS

無表情のまま、下唇を強く噛み締める紅緒。唇から一筋の血が流れている。

45 INT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、二階玄関前 - MOMENTS LATER

鋼鉄製ドアのカンヌキを切断し、事務所の中に侵入し始めるロシアン・マフィアたち。その背後から、勢い良く階段を駆け上がってくる音が聞こえ、振り向いた男たちが次々になぎ倒されていく。

配下D
 ...なんだお前...やめろ！！

46 EXT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、正面 - LATER

歌舞伎町のビルに到着する紅緒とお春と梨奈たち。
 入り口前に止められた3台の車。

梨奈が車内の荷室を見ると、拘束された大原一家の組員二人がぐったりして倒れている。組員のところに駆け寄り、首を触って脈を確認する梨奈。

梨奈
 まだ脈があります！救急車！
 （お春に）早く、上に！！

最悪の事態を覚悟しながら階段を登る紅緒たち。だが、階段にはロシアン・マフィアの男たちが倒れていて、不思議そうな表情のまま駆け上がっていく紅緒とお春。

47 INT. 同、新宿歌舞伎町、大原一家ビル、事務所内 - CONTINUOUS

切断されたドアを抜けて、紅緒たちが事務所の内部に急いで入っていくと、そこにもロシアン・マフィアの配下たちが倒れている。

お春
 ...これって...

辺りを見回しながら、大広間の襖を開ける紅緒。
 大広間の中央を見ると雪乃が片手に黒い木刀を持ち、息を切らして立っている。

紅緒
 ...あんた、劇場の...

雪乃
 （息を切らせながら）
 ...これで、先日のご恩は...義理は、果たしました...でしょうか？！

大広間に入ってきた組員たちが雪乃を見て「あいつは...」「劇場の...」と言いながら、雪乃の存在を思い出している。

自身も傷を負い、返り血を浴びた雪乃の姿を見て、組員たちに声をかける紅緒。

紅緒
 ...誰か！手当を！

雪乃の周りを取り囲む大原一家の組員たち。

お春
 （雪乃に）
 ...お前、なんでここに？

雪乃
 (息を切らせながら)
 ...あの人たちが、すごい勢いで、このビルに
 向かっていくのが見えて...

お春
 あの人たち？

BEGIN FLASHBACK:

48 EXT./INT. 新宿歌舞伎町、裏通りのカフェ - DAY

カフェに入店し、手渡されたドリンクを持ってカウンターに座る雪乃。
 正面にある大原一家ビルを見ると、いつもは見かけない三台の車が停められてい
 る。

不審に思いながら観察をしていると、数人の部下を従え、殺気立ったクオンが刀
 を抜きながら大原一家ビルに乗り込もうとしているのが見える。

出入りだと直感し、席の横に置いた木刀を手に取り、衝動的に店の外に出ていく
 雪乃。

END FLASHBACK:

49 INT. 新宿歌舞伎町、大原一家ビル、事務所内 - CONTINUOUS

紅緒とお春が雪乃の目線の先を見ると、そこには数人の部下を従え、環刀（朝鮮
 伝統の刀）を持った韓国マフィアのボス、クオンの姿。
 クオンは倒れているロシアン・マフィアの男を椅子代わりにして座っている。

紅緒
 ...クオン？

事態を把握しきれない紅緒たちにクオンが話しかける

クオン
 ...なに浮き足立ってる、紅緒お...ガセネタ
 で踊って、歌舞伎の本部カラにしてさあ...

クオンの意図が読めず、無言でクオンを見る紅緒とお春

お春
 なんで、あんたが...

クオン
 (雪乃を顎で指して)
 その子、すごいよ。木刀で、10人は倒した？

雪乃
 ...7人です。あとはこの人たちが...

その時、ITルームの鍵を開けて、瑠璃が大広間に出てくる。

梨奈
瑠璃さん！！！！

ひしっと抱き合う梨奈と瑠璃とお春。それを見て安堵したのか、目に薄く涙を滲ませて、頷く紅緒。瑠璃もそれに気づき、無言で目を合わせて頷いている二人

それを見ながら居心地の悪そうなクオンが部下に顎で合図をし、立ち上がる

クオン
生きてるロシアの奴ら、何人かもらっていく。
交換したいものがあるからさあ

紅緒
...わかった

クオン
...うちは正直、ロシアとコトを構える気はなかった...まだ準備が整ってないから

紅緒、クオンの表情から何かを読み取ろうと集中している

クオン (CONT'D)
来週、新大久保のうちの店に來い。ガセ流して、ロシアと組んでるよ。あの会合、もう意味ない。うちとお前らで組む。腹割って。わたし腹見せたし、身体張った

紅緒
...連絡する

クオン、近くに落ちていた鞘を拾って環刀を収め、紅緒の方に歩いてくる。

クオン
(すれ違いざまに)
紅緒、これは"貸し"だよ

紅緒、小さく頷く。

倒れているロシアン・マフィアの頭を蹴り上げて、息があるか確認し、何人かを担ぎ上げて、引き揚げていくクオンたち。

雪乃の周りを取り囲む大原一家の組員たち。雪乃も徐々に表情を崩し、はにかんだ笑顔を見せる。一部始終をカメラで見ていたであろう瑠璃が、雪乃の立ち回りについて皆に説明している。その勇気と戦闘力への賞賛を浴びながら照れまくって顔を真っ赤にしている雪乃。

その光景を遠くから見ていた紅緒が大広間の床の間に目を移すと、そこにはクオンが置いていったと思われる菊の花束が置かれている。

50 INT. 都内郊外、セルゲイの邸宅、書斎 - EVENING

椅子に深く座ったセルゲイが誰かと電話で話している。

セルゲイ
 (ロシア語で) そうか、残念だったな...
 いや、ボリスは裏切り者だ、モスクワの許可も
 とってある。新宿襲撃の責任者は？ここに来る
 ように言うておけ。逃げないように。そうだ、
 お前が会いにいった、連れてこい

静かに電話を切るセルゲイ。

口調は穏やかだが、セルゲイが激怒しているのを感じ、震えながら銀のお盆を差し出してスマホを受け取る部下A。

椅子から立ち上がり、中庭を見るセルゲイ。
 たくさんの子供たちが遊んでいた中庭には、もう誰もいない。

書棚に飾られている写真にカメラがズームしていく。東アジア人らしき少女を抱き上げる、セルゲイの若い頃の写真が映し出される。

暗転

51 INT. 新大久保、クオン経営の韓国料理屋、廊下 - DAY

案内係に先導され、高級そうな装飾を施された廊下を歩いている紅緒とお春。突き当たりの部屋に通され、案内係に会釈をする紅緒とお春。

ウェイターがやってきて、テーブルの上に韓国茶器でお茶を淹れ始める。

52 INT. 同、新大久保、クオン経営の韓国料理屋、個室 - LATER

夕陽が差し込み始めた室内。入り口近くに立ったままの紅緒とお雪。テーブルの上に置かれたお茶は湯気が消え、すっかり冷めている。

お春
 (腕時計を見ながら)
 ...まだ待つ感じ、ですかね？

紅緒
 先日のこともあるし、今日は立場が弱い。半日でも待とう

お春
 半日...

紅緒
 お春、座ってもいいよ。クオンたちが来ればわかるだろうから

お春
 姉御を立たせておいて座れませんよ...

ふふっと笑顔を見せる紅緒。だが、次の瞬間、何かに気づいたように緊張した面持ちになる。

お春 (CONT'D)
(それに気づき)
どうかしましたか？

紅緒
...なにか、妙な音がする

紅緒が部屋中を見回すと、天井埋め込み型エアコンの噴出口から透明のホースが出ており、そこから白っぽいガスが出ている。

紅緒 (CONT'D)
...お春、ガスだ！口ふさげ！

お春
いえ！脱出しましょう！

お春、出入り口のドアに全力でタックルするもビクともせず、懐から特殊警棒を取り出してドアの取手を叩き壊そうとするが、数回叩いたところで力尽きて倒れてしまう。

紅緒は着物の袖で口を覆い、スマホを取り出して操作しようとするが、ガスが回ってしまったのか、床に倒れ込む。

薄れていく意識の中、紅緒の目に映ったのは、ガスマスクを装着し、部屋に入り込んでくる複数の男たちの姿だった。

完全に意識が落ち、暗闇の世界に入っていく紅緒

第一話 終わり